

2004年5月25日

各 位

株式会社 UFJ銀行

新たな中堅・中小企業向け問題債権への対応について

株式会社UFJ銀行は、中堅・中小企業の再生への取組み強化と問題債権の早期圧縮を目的として、以下の施策を実施してまいります。

UFJストラテジックパートナー株式会社(以下、UFJSP)は、UFJ銀行とフィナンシャル・アドバイザー契約を締結し、これまで破綻懸念先および実質破綻先・破綻先を中心に対応してまいりましたUFJSPの関与債権を要管理先まで拡大いたします。

米国金融グループ・メリルリンチと共同で、金融機関からの債権買取を通じて企業再生を図る投資ファンドを設立することで基本合意いたしました。

UFJSPの関与債権拡大について

UFJ銀行は昨年、メリルリンチと共同でUFJSPを設立し、主に破綻懸念先以下の取引先の再生および問題債権の圧縮に取り組んでまいりました。

今般、UFJSPの関与債権を中堅・中小企業の要管理先を中心とした債権にも拡大することで、UFJSPが培ったノウハウを活用して対象先の企業再生を通じた開示債権の圧縮をスピードアップいたします。本件実施により、中堅・中小企業の要管理先以下はUFJSPで対応し、UFJ銀行は要注意先以上の予防的対応に重点を移してまいります。

なお、現在、UFJSPはメリルリンチより優先株式1,200億円の出資を受け入れておりますが、本件実施による新たな出資の受け入れ等はございません。

メリルリンチとの投資ファンド「ジェネシス・ファンド」の共同設立について

メリルリンチおよびUFJ銀行は、UFJグループが保有する中堅・中小企業を中心とした債権を買取り、債務者の企業価値向上を図る投資ファンド「ジェネシス・ファンド(Genesis Fund)」を共同設立することでこのたび基本合意いたしました。

本ファンドは、一定の事業力があるものの、過大投資や多額の有利子負債等が原因で業績が低迷しており、財務リストラクチャリング等を行うことで企業価値の向上が期待できる要管理先を中心に、UFJ銀行をはじめとする金融機関より貸出債権を時価で買取り、追加融資機能も活用しながら債務者とともに企業価値の向上に取り組んでまいります。

メリルリンチとUFJ銀行は、別途設立を予定しているファンド運営会社に対して、本年6月に普通株式による出資を行い、その後同社を匿名組合営業者とするファンドを組成いたします。なお、ファンド運営会社に対する普通株式の出資比率は、メリルリンチ95%、UFJ銀行5%を予定しており、メリルリンチより代表取締役を派遣いたします。

ファンド総額は、匿名組合出資で最大1,000億円を予定しており、メリルリンチグループが70%、UFJグループが30%を出資いたします。

なお、本ファンド運営会社は、買い取った債権のサービシング業務をUFJグループのフロンティア債権回収を中心に委託いたします。本件による再生機能の業務拡大に伴い、フロンティア債権回収では、新たに「事業再生部(仮称)」を設立いたします。

今後とも、UFJグループは、中堅中小企業に対するソリューションを提供することで、お客さま及び株主のみなさまから一層の信頼をいただけるよう努めてまいります。

以上

【ファンドの概要】

匿名組合営業者の概要

- ・会社名 : 未定
- ・本社所在地 : 東京都中央区
- ・資本金 : 1億円
- ・出資比率 : メリルリンチ・インターナショナル・インコーポレーテッド95%、UFJ銀行5%
- ・役員構成 : 代表取締役はメリルリンチより派遣
常勤取締役、非常勤取締役はメリルリンチおよびUFJ銀行より派遣

ジェネシス・ファンドの概要

- ・出資形態 : 匿名組合出資
- ・最大出資額 : 1,000億円
(メリルリンチグループ会社70%、UFJグループ会社30%)
- ・投資対象 : 一定の事業力があるものの、過大投資や多額の有利子負債等が原因で業績低迷しており、財務リストラクチャリング等を行うことで企業価値の向上が期待できる要管理先が中心

【ファンドスキームの概要】

